

(週刊)

磐城春秋

社 所 秋 八
行 春 六
城 市 町 四
電 話 八 番
紙 郵 發 行 刷 人
高 木 一 所
常 務 印 刷 所
定 價 一 部 四 圓

各選挙の動きを見る

活潑な代議士戦

關内兩雄の決戦展開

小澤

代議士選挙は今や白熱化して街頭演説會にしのぎを削りつづつて入り混じり戦つてゐるが民主黨公認の小澤孝七郎氏が猪狩正成氏を事務局長に強引に勢力を擴張し、純真ないちご會の若人達迄も戦線に参加、小澤一流の大がかりな戦法でやつてゐる。自由黨公認關内正一氏は諸橋元三郎氏を事務局長に前回の借取に就いての同情と小澤氏が立つたため苦境に立つてゐるといふ點の同情が加つて、是が非でもこの清康二十年の政治生活に

低調な参議院選挙

全国は星氏が有力 地方は橋本氏が有力

参議院選挙は明日に舉行せられるが各種選挙が先般より早に行はれるので市議選、衆議院選挙等に耳目を奪はれて低調を極め、期日が接近しても誰が全国で誰が地方でも見當つかぬ有様である。濱通りからは全国議員として星氏がでてゐるだけで、地方議員は皆無といふ状態なので、全国議員は星一氏の一人舞台といふ

衆議院立候補者中の二人の文化人

鈴木傳明氏 大井川幸隆氏

今回第三區から出馬した代議士候補十一名中文化的匂を帯びてゐる人物は誰かと云ふと、鈴木傳明氏と大井川幸隆氏の二人である。鈴木傳明氏は泉村の出身、映畫俳優として全国津々浦々の青年中年層の男女にあまねくその名をまへと頌が知られてゐる。それだけに彼が代議士候補者に立つた場合は損な面と得な面とがでて來てゐる。得な面は名まへのうられてゐるといふ事であり、損な面は一映畫俳優に政治がわかるものか、と一口に片付けられ易い點

定員一名の榮冠を狙ふ

縣議戦(市部)の動きを見る

平市定員一名の縣議員をめぐつて、かねて噂の通り金子政通、神谷兼次郎、馬目武之助、大内近雄の四氏が名乗りをあげた。金子氏は關内派神谷氏は星派馬目氏は進派大内氏は社會黨といふ色合になる。何れも新人であり、市長選挙の餘波が微妙に動いてゐる。保守派三名革新派一名となり守派は當然共喰ひといふ事になり、戦線整理の必要があるが、種々の錯綜した事情はさうもいかぬ所に悩まがある。金子氏が事務局長志賀子之松氏に、一丁目を事務所を開き、神谷氏は藤浪時康氏を事務局長に町町の神谷工業に事務所を開いて果敢な進撃ぶりを見せ、馬目氏は五丁目、鈴木市長

形勢全く混沌

急進派の猛攻撃か(郡部)

郡部から出る縣議は四ツ倉の植田萬次郎氏、小名濱の志田要三郎氏、小野義一氏、勿來横田定好氏、赤津庄兵衛氏、植田成瀬巴三氏、夏井木田泰之助、湯木大井川正巳氏、日野利春氏、勢組關係では勿來炭礦の田畑金光氏、常磐炭礦の渡邊勝治氏、泉羽の田子英次氏等が出馬する他、前縣議進派龍輔氏が郡部に廻つて炭礦、三阪、澤渡、四ツ倉、江名

市政には素人

鈴木市長の就任挨拶

鈴木市長は十二日午ぜん十時モートニングに威儀を正して登壇市長室に入り先づ各課長を集めて簡単な就任の挨拶を述べた後日本間に全吏員を集めて更に挨拶のことばを述べた。公約した市長室を階下に持つてゐる事は選挙事務終了迄おぼつけないなる模様で、課長連には「自分は素人であるから宜しく役所の仕事は外で見やうにはいかないかも知らぬ。新聞にはくび切りの名人のやうに書かれたがそんなことはないから落着いて仕事をやつてくれるやうに」と述べ、吏員一同には「各課には案内係を置いて市民の便をはかる事、市政

貝殻追放

△各種選挙戦が入り混じりてゐるので町内のポストもどれが代議士やらどれが市會やら見當つかぬ。流石に昨春よりポスターの作り方は進歩してそれ／＼に工夫をこらしてゐる。△候補者と責任者の配合もいろいろと選挙に關係を持つてゐる。本人は兎に角責任者の顔はつせぬといふ場合がある。此點で候補者

なる文化人ではなくて、營の才も政治性も立派に具へてゐる。或人が平市長に適任だと評したのもなるほどと思はれる。大井川幸隆氏は磐城村の産その學歴は小名濱實業を出ただけで、ほとんどいふに足らぬが、獨學で漢文でも國語でも相當にみこなし朝鮮語にも精通してゐるといふ事だ。かつて日東文化といふ雑誌を發行し、郷土史の研究も専門家の域に達してゐるし、書畫骨董類の鑑識がなんぞと人の部であるまた文を好くし書をよくし文學藝術方面の造詣が深く社會主義的話よりさうした方面の話の方が彼の性に合つてゐるやうにも見える。若し時から主義者となり思想上の問題で検束入獄等官

権の壓迫も身にしてみればしてをり、従つて闘志も盛んである。私生活上の問題で兎角人物を云々されるのは狭い田舎の當で此點彼にとつて氣の毒な感がある。讀書と思索から來た理論もしつかりと持つてゐる。体格が堂々としてゐるので、壇上に立つても風采、論旨、聲量とも一方の雄であり、聴衆を魅惑するに足るものがある。彼の風貌からは社會黨の闘士といふやうな峻厳な壓迫感も全然受けない。彼年なほ四十、嶺山を經營し懐具合も好かつたが昨年の選挙では大分散じたといふ噂だ。今少し眞剣な態度になり、黨地方委員のために力を致すべきであらう。時局は好むと好まざるにかかわらず、社會主義時代に向つて來てゐる。彼の過去の黨のための苦闘が此邊で酬いられても好い筈だ。

映画の観方について

伊作 牧 二

何故映画を観るのか、何ういふ映画の観方が自己を一番価値づけることになり、またかといふ質問を發した場合は何如なる解答を寄せるであらうか。これは日常生活に於いてごくありふれた問題ではあるが、それだけ自己と映画の間に存在する密接な関係について、深く考をめぐらしてゐる人があつたらうか。

一般的には多くの人は、殆どが生活の單調故に映画館に足を運ぶのであらうし、映画によつて自己を向上せしめると言つた考へ方を持つて映画を観に行く人はごく少いであらうと想像される。事實また市内に於て私達に提供される一月間十数本に於ける映画はほんの例外を除いては私達のよりよき精神生活に何等の意義も發見出来ぬ作品であるし、見出した作品を通じて私達が深い考察を興へる論議は全く無いのである。

戦後月々製作される日本映画には殆ど私達の心に結びつく作品はあり得ないし、また数多く入荷したアメリカ映画の中でも心の糧になる作品といふものは、ほんの數へる程しか無かつたのである。

映画は單なるその場限りの娯樂であつて、それ以上のものを求めるのは間違つてゐると言ふ人の言葉をよく耳にするが、私はさうしたものを考へ方とはならない。第八藝術といふその名の示す通り藝術の末席をけがす映畫に、私は他の藝術部門と同様に人間を、社會を、そして世界を正しく把握し

だが「南部の人」を最後として「キネリー夫人」以来多くの人々に親しまれた磐城第二劇場も當分洋畫上映の計畫を放棄したと言ふことについては、一抹の寂しさを感ずるのである。さて私は映画は何う観るべきかと言ふ質問に答へて次の様な判断を下す。先づ選擇することであると、常によりよき映画を選択し、その映画にふれることによつて自己を成長せしめることであると。

だが、ある書物は言つてゐる。我々のなすべきことはよりよきものを選択することではなくて、與へられたものの中によりよきものを發見することであると。その言葉のうちにはある線に沿ひ得た眞理を發見することが出来る。私は人間の何

ものにも約されたいむきな向上性を信ずるものである。では何如にして選擇すべきかと言ふ問題であるが、それは各人の教養の程度に期待するしかないと思はれる。何如に詳細な説明が加へられても、常人にとつてそれが肉体化されず、精神上の上すべりだけに終つてしまつては無意味なものである。映画があらゆる擔當部面の綜合によつてすぐれた作品になると言ふことはまへのべたが、人間もあらゆる部面の綜合によつて始めて完全なものと成るのである。故にその人間を形成する各部面からの教化が自然に映画の觀方の正しさを揭示してくれるものである。

だが「南部の人」を最後として「キネリー夫人」以来多くの人々に親しまれた磐城第二劇場も當分洋畫上映の計畫を放棄したと言ふことについては、一抹の寂しさを感ずるのである。さて私は映画は何う観るべきかと言ふ質問に答へて次の様な判断を下す。先づ選擇することであると、常によりよき映画を選択し、その映画にふれることによつて自己を成長せしめることであると。

工場の中

中村 城子

行く雲の何時しか消えて限りなき青空のあり工場の晝。みかへせば此方みつむるにありひて和みをおぼゆ工場の晝。冬の陽のなかにたゞづみ引くかげを凝視しありぬ工場の晝。沈みゆく心ひきたてて大空をみあげし朝の工場の晝。

ゆきすぎる若き乙女のたもととかげ見知らぬ土地の春まつりかな友戀へば涙あふれぬ大空の青きをみれば涙あふれぬ別れゆく姿を追へば生々と友の瞳みにのぞみあふる。亂れおつひたひの髪に初春の陽はふりかゝるわびしきまでに

虚無 失ひし夢をさがして漂然と小高き丘に唯たちてあり

道端の枯葉がぐれにおもひ出の寄せてはかへす波のごとくに唯一つ奇蹟を願ひたぶるに おもひ抱きてゐる夜の道

共同電氣株式會社特約店 百澤機械店 百澤易重 電話九七一七番 平市四丁目(局前)

金成醫院 内科 外科 橋本 源一 電話八二〇六番 平市二丁目

診療科目 内科 外科 眼科 耳鼻科 産婦人科 レントゲン科 電話六〇八八番 平市十五丁目

岡萬年筆店 修理敏捷 電話三九九九番 平市三丁目

桑原計理事務所 桑原 徹 電話八一五番 平市揚土

磐城自動車工業株式會社 電話三七〇〇番 平市正月町

少年の町 役場 鈴木 傳明 電話六〇三番 平市公會堂前

釜屋商店 電話九九七番 平市五丁目

マルサ食堂 MARUSA DINNER HALL 電話二七一 平市二丁目

久野電機工業所 電話三七二番 平市二丁目

阿部療術所 電話四二四番 平市田町

阿部康藥局 電話四二四番 平市田町

阿部康藥局 電話四二四番 平市田町

神谷工業原料株式會社 社長 神谷兼次郎 電話六五六番 平市田町

株式會社 ホシ薬舗 電話四二九番 平市三丁目

新星硝子工業株式會社 電話七一四番 平市仙町

星製藥株式會社福島工場 電話六六八・三五三番 平市五丁目

社告 郡下縣會議員候補者の立會演說會を左記要項に依り開催す

城春秋社 電話四二四番 平市田町